

謹賀新年

別府駐屯地屋上から別府湾を望む

撮影：広報 平山3曹

扇山



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株) 電子印刷センター



別府市自衛隊協力会会長

別府市長 長野 恭紘

新年の挨拶

明けましておめでとうございます。

陸上自衛隊別府駐屯地第41普通科

連隊並びにご家族、関係諸団体の皆

様方と共に令和3年の新春を清々し

く迎えられますことを心からお喜び

申し上げます。

皆様方におかれましては、平素か

ら別府市政並びに別府市自衛隊協力

会に対しまして多大なるご支援とご

尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。

近年、ますます厳しさを増す国際

情勢や日本全国に脅威をもたらす自

然災害が頻発している中、自衛隊の

役割と任務はこれまで以上に幅広く、

かつ重要性を増しております。

昨年は、新型コロナウイルス感染

症が世界を震撼させました。新型コ

ロナウイルス感染症に対する自衛隊

の災害派遣活動として、主要空港を

拠点に実施した検疫支援などの「水

際対策」や全国規模での教育支援や

医療支援などの「市中感染対策」等、

現在までいろいろな活動を継続さ

れております。

自分自身の危険や苦勞も顧みず使

命を黙々と全うされるお姿は、全国

の人々に感動を与え、感謝の念に堪

えません。

世界の恒久平和と日本国民の命を

守り安全・安心なまちづくりのため、

あらゆる活動に「勇往邁進」されて

いる皆様、ここ別府市に駐屯され

ていることは市民にとって誇りであ

り、まさに「自衛隊がそこに在る安

心感」を体現されており、大変心強

く思っているところであります。

今後、地域の皆様や協力団体の皆

様と一緒に、本市のまちづくりにな

お一層尽力してまいりますので、本

年も皆様の変わらぬご支援とご協力

をお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が、中村

英昭第41普通科連隊長兼別府駐屯地

司令をはじめ、隊員並びにご家族、

関係諸団体の皆様にとりまして、幸

せ多い年でありますよう祈念申しあ

げまして、新年のあいさつといたし

ます。

新年の挨拶



第四十一普通科連隊長
兼 別府駐屯地司令

一等陸佐 中村 英昭

平素から別府駐屯地に対し御支援、

御協力を賜っている協力諸団体をは

じめとする地域の皆様、また隊員が

勤務に精励できるよう支えてくだ

さっている御家族、そして別府駐屯

地の隊員諸君、新年あけましておも

でとうございます。

旧年は、世界中に蔓延した新型コ

ロナウイルス対応に明け暮れた年で

した。我が駐屯地においても残念な

がら、地域の皆様と交流できる「観

桜会」「山の納涼音頭大会」「創立記

念行事」といった貴重な行事を中止

せざるを得ない状況でありました。

我が国周辺に目を転じてみますと、

中国は、継続的に高い水準で国防費

を増加しつつ、我が国の尖閣諸島を

含む東シナ海・南シナ海において力

を背景とした一方的な現状変更の試

みを執拗に継続しております。北朝

鮮は、核兵器の小型化・弾頭化をす

でに実現しているとみられるほか、

大量破壊兵器や弾道ミサイル開発を

推進しております。ロシアは、核戦

力を含む装備品の近代化を図ってお

り、我が国固有の領土である北方領

土において軍の駐留を継続させ、そ

の活動を活発化させています。

このように我が国周辺には、質・

量に優れた軍事力を有する国家が集

中し、軍事力のさらなる強化や軍事

活動の活発化が顕著であり、加えて、

近年は領土や主権、経済権益をめぐ

り、グレーゾーンの事態が長期化す

るとともに、明確な兆候のないまま、

より重大な事態へと急速に発展して

いく危険性ははらんでいます。更に

国内におきましては、ここ数年台風

や豪雨、地震といった自然災害に見

舞われ、多くの尊い命が失われてい

ます。このような中であって、我々

は万一の時、地域住民の皆様をお守

りする、あるいはお救いする実力を

着実につけていかなければなりません。

そのための努力を惜しまずひた

すら訓練に訓練を重ね、装備品を駆

使し、去年よりも今年、昨日より今日、

益々精強になることをお誓い申し上

げ、年頭のご挨拶とします。

本年の皆様のご御健勝と御多幸を心

より祈念いたします。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!



別府駐屯地業務隊長



2等陸佐 後藤 良一

明けましておめでとうございます。隊員及びご家族並びに各協力会の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響で駐屯地の各種行事が中止になり、駐屯地及び隊員の勇姿を皆様にお見せできず非常に残念でした。今年もコロナの状況は不透明ですが、新たな処置対策を講じ皆様にお見せできるような業務隊として尽力する所存です。

第404会計隊長



3等陸佐 松岡 史郎

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍において感染拡大防止に努め、集中野外訓練や方面総監検閲を受閲し、部隊としての練度向上を図るとともに、給与及び旅費支給に係るシステム導入にも対応し、例年になく一年でありました。

本年も、会計科隊員一人一人が会計のプロ意識を持って、「ありがとう」と思われるよう、奉仕の心を持って任務に邁進する所存であります。

本年も皆様にとって幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げます。

第3普通科直接支援中隊長



1等陸尉 黒木 秀典

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス対応を伴った支援任務を完遂する所存です。

本年も皆様にとって幸多い輝かしい一年になりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

添

奉

輪

第41普通科連隊 副連隊長



2等陸佐 服崎 誠司

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられます。

したことに改めて申し上げます。昨年は新型コロナウイルス一色の一年だったように思います。別府駐屯地においてもその影響を受け、別府駐屯地創立記念行事が中止となりました。また、我々が日々行う教育訓練においても感染防止等の観点から、マスクの着用や個人の健康管理をより徹底して、訓練を行ってきたところとす。令和3年もこのような状況が続くと思いますが、地域の皆様に信頼される駐屯地として精進な部隊となれるよう、隊員一同職務に取り組みまいります。引き続き変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

信

本部管理中隊長



1等陸尉 酒井 一光

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は新型コロナウイルスの影響の中でも、地域の皆様、隊員家族の皆様のご理解ご協力を頂き、レンジャー教育、車いすマラソン支援を完遂できました。本年も皆様の負託にお応えできるよう、引き続き訓練に日々精進する所存であります。

旧年にならぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとって幸多き年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

続

第3中隊長



1等陸尉 佐藤 公俊

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

中隊長に就任以来、「任務指向」「仲間・家族を想え」を要望事項に、隊員とともに各種任務・訓練に邁進しております。

本年も隊員一人一人が、大切な家族・仲間を想い、厳しい環境下においても各種任務を完遂できる精神（心）・技能（技）・肉体（体）の更なる向上を目指して邁進します。そして、地域の皆様に信頼される精進な中隊で在るよう、隊員一同日々精進する所存であります。

本年が皆様にとりまして、幸多き年になりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

進

第4中隊長



3等陸佐 坂口 剛

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、師団炊事競技会「優勝」に貢献、連隊武装走競技会「優勝」、中隊検閲及び防災訓練を完遂するにあたり、地域の皆様、隊員ご家族の皆様からご支援及びご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

また、中隊全隊員の心を一つにして新年を迎えるため、いぶし銀輝る古参陸曹の声かけにより中隊統制「魁」マスクを中隊全隊員揃えることとし、「魁」中隊としての誇りと伝統を隊員一人一人が継承して、中隊団結の「絆」を改めて感じました。中隊は要望事項「前へ、さらに前へ」邁進して参る所存です。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

魁



別府駐屯地業務隊長

1等陸曹 高松 元樹



4度目の年男を迎えたおじさんの抱負は、凡庸な抱負ですが昨年は朝帯の損傷やぎっくり腰など怪我が強いられた年となりました。どちらの故障も体幹や筋力を鍛えていれば防げていた事、お陰様で部隊や家族に迷惑をかけ、自身の狭い日々を過ごしました。もう若くはない事を自覚して無理せず鍛錬に励みたいと思います。

本年が皆様にとりまして、幸多き年になりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

本部管理中隊長



2等陸曹 樋口 早苗

新年明けましておめでとうございます。今年のは3回目の年女を迎えますが、今までを振り返ってもあつという間だったように感じます。これから益々時間の経過が早くなると思うと、これまでに以上一日一日を一生懸命、大切に過ごしていきたいと思っております。また、現在コロナ禍であり、暗い気分になりがちですが自衛官として守るべき事を守り、その中でも幸せを感じ、楽しく日々精進していきたいと思っております。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

第3中隊長



3等陸曹 大鍛治 秀優

明けましておめでとうございます。年男を迎えるにあたり抱負を述べたいと思っております。今年で3等陸曹に昇任して2年目となります。この2年間で、自衛官候補生の班長や中隊での係業務など様々な知識を得る事が出来ました。なので今年は、積極的に教育に参加して普通科隊員としての知識・技能を身につけ部隊に貢献していきたいと思っております。

本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます

別府駐屯地
Twitter
更新中!!

陸上自衛隊別府駐屯地(公式)

フォロー



第134地区警務隊 別府派遣隊長



1等陸尉 東 幸聖
新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症防止、豪雨災害等多忙な一年でありました。

本年もこれまで積み上げてきた信頼を基礎として任務に邁進する所存でありますので引き続き変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとって幸多き年でありますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

大分地域援護センター長



1等陸尉 久下 智英
新年明けましておめでとうございます。皆様健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は大分自衛隊退職者雇用協議会をはじめ関係協力者皆様のご協力とご指導を頂まして、援護業務を遂行出来ましたことを心より感謝申し上げます。今年は、定年延長により、2佐から3佐の定年者がありませんが、企業は常に良い人材を求めているため、丁寧な説明をして、令和4年以降の就職に繋がるよう努めてまいります。

また、コロナの影響により企業の雇用は影響を受け雇用情勢の見通しは不透明で若年定年制・任期制隊員の再就職も影響がありますが、地道な企業訪問等により、若年定年制・任期制隊員のニーズに応える就職援護により、隊員が任務に邁進できるよう大分地域援護センター一同就職援護業務を推進します。引き続き、変わらぬご情愛を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして良い年でありますよう祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

第304基地通信中隊 別府派遣隊長



3等陸尉 荒巻 栄一郎
新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年3月着任以来、隊員とともに任務に邁進してまいりました。また、本部隊舎改修工事に伴う通信移設事業が完遂できたこと心より感謝申し上げます。本年は人員効率化に向けた過渡期となりますが、駐屯地そして地域の皆様に信頼される部隊となれるよう任務に邁進する所存であります。本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

進

新

通

第1中隊長



1等陸尉 櫻井 宏俊
謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は温かいご支援・ご指導をありがとうございました。

またまだ至らない点があるとは思いますが、引き続きご指導ご鞭撻並びに温かいご支援、ご協力のほど宜しくお願いいたします。寒い日が続きますが皆様におかれましてはどうぞご自愛ください。

忠

第2中隊長



3等陸佐 松本 哲治
明けましておめでとうございます。皆様健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年3月着任以来、各種任務に即応できるよう中隊一丸となり日々の訓練に励んでまいりました。これも地域の方々、隊員ご家族のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。我が国周辺の安全保障環境や新型コロナウイルスの脅威等、不確実性が増大する中ではありますが、現状に真摯に向き合い希望をもって任務に邁進する所存であります。本年も皆様方にとって実り多い年でありまことを祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

希

重迫撃砲中隊長



1等陸尉 榎原 健二
新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍の中各種行事等が中止され、また皆様の生活にも大きな影響があったことと思います。その中においても、我々は任務を主としていかなる事態へも対応し得るよう準備を実施してきました。本年も引き続きコロナ禍の中での各種対応となると思いますが、皆様が無事安心して過ごせるよう要望事項である「一致団結」を基に、中隊一丸となり任務に邁進していく所存です。本年も皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

団

駐屯地最先任上級曹長



准陸尉 田林 克規
謹んで新春のご祝詞を申し上げます。昨年も我々准曹士隊員は、各種訓練を通じ任務完遂できる強い部隊及び隊員育成のため、その実力を着実に積み上げていく一年でありました。

本年も引き続き、新たな出会い、人との関わり合い「縁」を大切に、与えられた責任を果たし地域の方々に信頼される駐屯地として更に飛躍できる一年となるよう努めてまいります。本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

縁



第1中隊長



陸士長 武井 雄輝
成人を迎え大人の仲間入りを果たしました。成人としての自覚と責任を持ち、行動できるように精進して頑張りたいと思います。

ように心がけ、今後は何事にもチャレンジ精神を忘れず努力し、立派な大人になりたいです。また、しっかりと自立して今まで苦労をかけた親をはじめお世話になった全ての方々に感謝し、少しでも恩返しできるように精進して頑張りたいと思います。

第2中隊長



陸士長 山下 元章
私は、今年二十歳を迎え人生において大きな一歩を歩み出しました。二十歳を迎えることにより、飲酒や喫煙など様々なことができるようになりますが、その分責任も大きくなります。私自身もう一度見つめ直し自覚ある行動をとり、周りから頼られる立派な社会人になりたいです。今まで育ててくれた両親に感謝の気持ちを忘れず恩返ししていきたいと思

います。重迫撃砲中隊長 陸士長 宗政 菜々花
私は、今年成人を迎えるにあたり感じた事があります。高校を卒業してすぐに自衛隊に入隊し、これまでは家族や友人などに支えられ生きてきましたが、これからは大人としての責任が増え、やつてもらう事が普通だったことも全て自分でしなければいけなくなると思います。今の自分を向上させて二十歳という節目で行動や言動などに責任を持てる大人になれるよう意識し、お世話になった家族、友人、たくさんの人に恩返しができるよう精進していきます。



重迫撃砲中隊長 陸士長 宗政 菜々花
私は、今年成人を迎えるにあたり感じた事があります。高校を卒業してすぐに自衛隊に入隊し、これまでは家族や友人などに支えられ生きてきましたが、これからは大人としての責任が増え、やつてもらう事が普通だったことも全て自分でしなければいけなくなると思います。今の自分を向上させて二十歳という節目で行動や言動などに責任を持てる大人になれるよう意識し、お世話になった家族、友人、たくさんの人に恩返しができるよう精進していきます。

新年あけましておめでとうございます

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!



番線縛着



障害構成



訓練開始式



対空警戒



陣地構築



陣地構築



小型ドーザーによる陣地構築



対機甲戦闘



防御戦闘

令和2年度
第2次基礎となる
部隊以下の訓練検閲

連隊は、令和2年10月14日(水)から10月18日(日)までの間、秋の気配が漂う日出生台演習場において第2次基礎となる部隊の訓練検閲を実施した。本検閲は、陣地防御における指揮幕僚活動、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作について評価判定し、その進歩向上を促すものである。

受閲部隊は、第2中隊、第4中隊、補給小隊で、朝晩の寒暖の差が厳しい中、それぞれが与えられた防御任務の完遂に向け、各指揮官の指揮のもと日頃の訓練成果を発揮した。

訓練開始式において統裁官である中村英昭 1等陸佐は、訓示の中で要望事項に「執念をもって敵の攻撃を破碎せよ」「安全管理」の2点を掲げた。

各部隊は陣地地域に到着するや、直ちに安全化を図り、偵察を実施し、防御準備に移行した。3夜4日をかけ強固な防御陣地を構築すると、17日に侵攻してきた仮説の敵(第16普通科連隊 大村)と壮絶な戦闘を繰り広げた。

第4中隊は、当初連隊の警戒部隊としての任務で敵の前進行動を遅滞させ、連隊主力の防御準備時間の獲得に努めた。第2中隊は、連隊の主陣地に強固な陣地及び交通壕を構築し敵の侵攻を最後まで阻止した。補給小隊は、連隊の段列地域に陣地占領し警戒や、秘匿を図る為夜間における弾薬輸送、敵からの化学攻撃対処行動、隊員の為の炊事など、主力部隊を後方から支援した。

本検閲間、隊員たちは泥だらけになりながら不眠不休で小隊及び分隊で丸となり任務の完遂に臨んだ姿はとても印象的だった。

各部隊はこれまでの訓練成果を十分に発揮し、各部隊ごとに問題点も認識する事が出来今後の訓練の資を得る事が出来た。受閲した部隊においてはこの先いかなる任務にも即応できるよう精強な部隊を目指し引き続き日々訓練に邁進する。

第4師団長末吉陸将
別府駐屯地初度視察

連隊は、令和2年10月12日(月)、第4師団長 末吉洋明 陸将の初度視察を受察した。駐屯地へ到着した末吉師団長を連隊長以下、幕僚、各中隊長が出迎えた。体育館において第3中隊 八岡慎悟 3等陸尉以下の儀仗隊による一糸乱れぬ栄誉礼の後、本部管理中隊 三浦慶一郎 2等陸曹が緊張で手を震わせながらも無事記念撮影を終了した。その後、幹部挨拶、状況報告に引き続き、隊舎屋上において第2科長 中村淳一 1等陸尉による地点説明が行われた。また隊内巡視では弾薬庫を視察された。

午後からは、連隊の隊員に対し訓示をされ任務に対する心構えを説き「第41普通科連隊長 中村1佐を核心として、精強な部隊・隊員となり、防衛任務の精強化に邁進する事を要望する。今回の視察にあたり、前から準備等々やってくれたと思う。今日も朝早くから色んな隊員が支援してくれて心から感謝している。」と隊員に労いの言葉をかけた。その後、駐屯地を後にし、初度視察を終了した。



地点指示



巡閲



師団長による訓示

新年あけましておめでとうございます

第41期

レンジャー養成 訓練帰還式



駐屯地へ帰還するレンジャー学生

連隊は令和2年11月30日(月)、別府駐屯地においてレンジャー帰還式を実施した。最終想定での任務を完遂したレンジャー隊員10名がレンジャー旗を先頭に駐屯地へ帰還する姿をご来賓をはじめ、所属部隊長、駐屯地隊員、そして何よりも帰還を心待ちにしていたレンジャー隊員のご家族の方々が盛大な拍手で出迎えた。

帰還した彼らの姿は、汗と泥まみれの戦闘服に、約50kgの背のうを背負い、心身ともに極限状態に近いものであったが、その眼差しは鋭く、堂々とした姿が印象的だった。学生長の中山大地 3等陸曹が連隊長に帰還報告を行い、隊員一人一人の首からレンジャー徽章をかけて授与された。連隊長は「つらいことがたくさんあったと思うが無事帰還できてよかった。感謝の気持ちを忘れず自信をもってこれからの勤務に邁進してもらいたい。」と訓示を述べた。帰還式終了後、新たに誕生したレンジャー隊員は、出迎えた部隊や家族に囲まれて、これまでの教育の健闘を称えられた。教育に参加し、学生長を務めた本部管理中隊中山大地 3等陸曹は「学生長を務め、みんなを引っ張っていく難しさや、仲間の大切さを知りました。また、厳しくも情熱をもって指導してくれた教官・助教に感謝し、これから中隊に帰りレンジャー隊員として頑張ります。」と述べた。過酷な訓練を卒業した10名の精鋭達はそのそれぞれの部隊へと戻り、これからレンジャー隊員として過酷な任務に立ち向かっていく。



レンジャー徽章授与



家族との再会



記念撮影

令和2年度

大分県国民保護共同実動訓練

連隊は、令和2年11月19日(木)中津市のダイハツ九州アリーナ及び中津東体育館他で実施された令和2年度大分県国民保護共同実動訓練に参加した。本訓練は、大規模テロによる事態発生時における国民保護措置を関係機関と連携し現場における各措置の練度向上を目的として実施された。訓練はダイハツ九州アリーナにおいて、観客席に仕掛けられた不審物が爆発し、化学剤が飛散し多数の死傷者が発生その後、市内の大規模商業施設で爆破事故が発生したとの想定で、連隊は大分県より災害派遣要請を受け、11月とは思えない夏日の中、化学防護衣を着用し汚染地域からの負傷者の救出及びアリーナ内の化学剤除染作業、重迫撃砲中隊は、アリーナから中津東体育館までの避難民を輸送するバスの警護及び上下車後の誘導等を実施した。本訓練を通じて、テロ発生時における関係機関との連携の強化及び災害対処能力の向上を図る事ができた。



負傷者の搬送準備



観客席の除染活動



避難民の警護

令和2年度

大分地区石油コンビナート等 特別防災区域総合防災訓練

令和2年11月4日(水)、昭和電工株式会社大分コンビナートにおいて、令和2年度大分地区石油コンビナート等特別防災区域総合防災訓練が実施され第4中隊(坂口剛 3等陸佐)が参加した。

本訓練は、大分県内において震度6弱の地震が発生し、石油コンビナート施設の火災発生、酢酸ビニルの流出、別府湾への油脂類の流出等の複合事態発生で想定され、県対策本部を中心とした部外関係機関が連携し対処行動を実施した。

第4中隊は、大分市消防及びDMATと連携して、負傷者の搬送等、一連の人命救助活動を実施するとともに、災害の規模、種類、負傷者の規模等について多様な場面における相互の共同要領及び認識の共有を図った。

本訓練を通じて、

関係機関との関係を強化するとともに、防災意識及び災害対処能力の向上を図る事が出来た。



関係機関との調整



負傷者の搬送

連隊小部隊対抗練成訓練

連隊は令和2年12月7(金)11日(月)金までの間、十文字原演習場において連隊小部隊訓練を実施した。本訓練はバトラーと呼ばれるレーザー交戦装置を使用し小部隊指揮官の実指揮能力の向上と隊員各個の戦闘能力の向上を図る事を目的としている。

訓練の場の設定は重要防護施設をゲリラコマンドウから防護するというものである。訓練は各中隊(本部管理中隊除く)が参加し、各小隊ごとにライナープレットや蛇腹鉄条網を使用し、小隊長・分隊長の適切な状況判断及び隊員間の相互連携で敵ゲリラコマンドウの重要防護施設への侵入を阻止した。本訓練を通じて、小隊及び分隊間の連携を強化し、今後の訓練への資を得ることができた。



警戒



交戦



交戦

令和2年度

日出生台演習場第2次定期整備

連隊は、令和2年10月2日(金)から10月15日(木)までの間、日出生台演習場で令和2年度日出生台演習場第2次定期整備を実施した。本整備の目的は、訓練施設等の整備を実施するとともに、演習場の長期安定使用に資する事である。

連隊の作業内容は、演習場内の草刈りや、道路整備等で連隊第4科の示す的確な作業工程に基づいて、各中隊ごとに早朝から夜遅くまで隊員達は黙々と作業を行い任務を完遂した。

本整備を通じて連隊は、各級指揮官の状況判断能力、作業指揮、工事管理能力の向上及び施設機械操作手の機械操作練度向上を図る事が出来た。



草刈り



草の積載



側溝整備

新年あけましておめでとうございます



別府駐屯地

Twitter



更新中!!

陸上自衛隊別府駐屯地(公式)

フォロー



平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

別府駐屯地業務隊

令和2年度現況調査

業務隊は、令和2年10月1日から11月9日までの間、「令和2年度現況調査」を実施した。

この調査は、車両、出版物、衛生器材、火器、通信電子器材、施設器材、化学、弾薬、需品器材及び被服を点検し、現品数量と帳簿数量に不都合の有無とその劣化状況を現物確認するものである。



受検部隊及び点検箇所は、別府駐屯地所在の方面直轄隷下部隊のみならず、大分分屯地、別府病院、国東・山浦無人中継所及び両子山通信訓練場にまで及び、約一ヶ月間もの期間を掛けて、この検査で現物確認し、物品の状態を把握して、じ後の補給業務に反映させる。業務隊は、駐屯部隊等及び行動部隊等に対し、迅速・細やかなサービス業務を徹底し、円滑な支援を実施する。



第404会計隊

西部方面総監訓練検閲受閲

令和2年10月26日から同年10月31日までの間、西部方面総監訓練検閲を受閲しました。

検閲項目は、鎮西演習で離島に展開している部隊の会計支援（実動）と、駐屯地におけるの会計支援（想定上）の大きく二項目に区分されていました。

第404会計隊は、離島への進出はなかったものの、駐屯地において恒常業務を実施しつつ、有事を想定した「住民避難（経済活動低下）に伴う音信不通業者の対応」「防衛出動手当の説明」「給与の繰上げ支給の相談」等の会計状況が付与され、通常では生じしないこともあって、各業務班は知恵を絞り、根拠を確認しつつ対応したところでした。

本検閲では、コロナの感染防止に努めながら、認識共有を図るための日々ミーティングを繰り返し、無事に検閲を終えました。今回の検閲受閲の教訓を活かし、じ後の訓練・業務に反映させていこうと思います。



第3普通科直接支援中隊

令和2年度第2回中隊練成訓練

第3普通科直接支援中隊は令和2年10月15日から18日までの間、日出生台演習場において令和2年度第2回中隊練成訓練を実施した。当訓練では、主に天幕展張や掩体構築練成による新入隊員の戦力化及び、施設機械操作技能保有者2名の小型シヨベルドーザ操縦技術向上を目的とした訓練が行われた。

新入隊員については整備用天幕や対空用機関銃掩体等、初めて構築する天幕や掩体に戸惑っていたが、部隊の先輩たちの指導もあって概ね習得できた様子だった。

小型シヨベルドーザの操縦練成では、技能保有者両名とも演習場における掩体の構築は初めてだったが、持ち前のセンスと鋭い勘でスムーズな構築作業を実施できていた。



今回の練成訓練では、新入隊員と施設機械操作技能保有者、及び他の隊員に対しても個人技術の向上に効果的なものであったと感じた。これからも国防に貢献するため、部隊全体の練度向上に努めていきたいと思う。

大分地方協力本部 大分地域援護センター

大分県任期制隊員合同企業説明会を実施

大分地域援護センターは、10月7日（水）8日（木）に大分県任期制隊員合同企業説明会を実施した。

任期制合同企業説明会は、令和3年に任期を満了する予定の隊員を対象に企業からの雇用情報の直接の提供を受け、再就職の決定に資する目的で、参加隊員は31名、大分県内の参加企業109社で行われた。

今年はコロナの影響で7月の予定を10月に変更し会場も広い体育館に変更しコロナの対策を実施した。

参加隊員からは、「直接企業から仕事の内容条件等を確認できて良かった。」また「企業数が多く、選択の幅が広がり良かった。」等の感想が聞かれた。

参加企業からは、「まじめで責任感のある隊員を是非採用したい。」等の感想が聞かれた。大分地域援護センターは、任期制合同企業説明会の結果を受け、隊員の希望に沿う再就職の援助を実施します。



第134地区警務隊別府派遣隊

警務隊の現況

警務隊は、令和2年10月11月にかけて日出生台演習場及び十文字原演習場で実施されている各種訓練の参加各部隊に対し、防犯資料の提供等を実施し訓練実施間、移動間の事故防止に寄与した。

また、年末・年始の休暇期間前に部隊の任務達成及び団結、規律、士気に多大な影響を及ぼす金銭事案、暴力事案、わいせつ事案、交通事故防止等の各種事故防止について防犯活動を実施した。

引き続き、3密に注意した生活様式に留意しながら駐屯地・各部隊の規律維持に寄与し、不幸な事件・事故防止の絶無に努めたい。



第304基地通信中隊 別府派遣隊

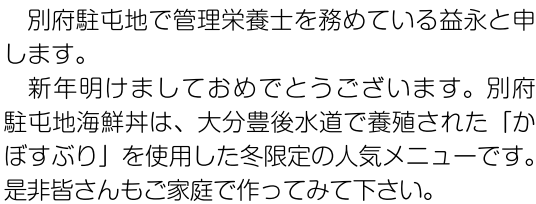
救急法検定を実施

派遣隊は12月10日、毎年実施している救急法検定を実施した。今年は、個人携行救急品の内容品の充実、医療技術の経年変化、米軍の実施要領の反映に伴い、手順が大きく見直され初めての検定となった。学科試験及び実技試験ともに例年以上に真剣に取り組み、全員が無事合格できた。



敵の脅威下をイメージすることで、第一線救護の難しさを感じることができたので、引き続き練成を実施し、更なる練度の向上を図りたい。

新年あけましておめでとうございます



食品名	分量(ｇ数)
いくら味付け	80g
かぼすぶり刺身	120g
まぐろ刺身	120g
いか刺身	120g
冷凍錦糸卵	80g
大葉	4g
わさび	2g
さしみ醤油	60g

別府駐屯地隊員食堂
おすすめレシピ紹介。
3回目は、「別府駐屯地海鮮丼」
のレシピを紹介します。



- 1 ぶり、まぐろは寿司ネタ用にうすく平たくそぎ切ります。
- 2 いかは細切りにします。
- 3 丼にごはんをよそい、白いりごまをふりかけ、ぶり、まぐろ、いか、錦糸卵をもり、中心に大葉をおいていくらをのせます。
- 4 醤油をかけて食する。

別府駐屯地隊員食堂

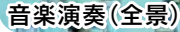
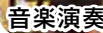
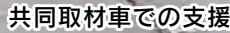
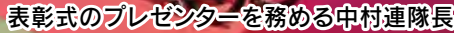
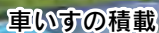
おすすめレシピ紹介



令和2年11月15日(日) 大分県いす馬拉ソン2020が大分市の県庁前をスタート、市営陸上競技場にフィニッシュするコースで開催された。本大会は、新型コロナウイルスの影響で今年の開催を見送った大分国際車いす馬拉ソン大会の代わりに国内選手のみでの参加となり、馬拉ソン(42・195キロ)が22人、ハーフ馬拉ソン(21・0975キロ)が77人の男女計99名が出走した。

今回の入会も前年に引き続き、本部管理中隊が支援を担当した。支援部隊は、選手が城址公園（大分市）で預けた生活用車いすをフィニッシュ地点に運搬し大会終了後は、レース用車いすをホテルや城址公園（太分市）へ大型車両を以って運搬支援と、競技間における報道関係者の共同取材車として高機動車でコース上を走行し、取材支援を行った。隊員は選手の大切な車いすに細心の注意を払い積載や卸下を行った。また、一人一人がボランティアの方々と声を掛け合い、選手の方々の補助なども行い大会運営に大きく貢献した。また第41普通科連隊長 中村英昭 1等陸佐は、表彰式のプレゼンターを務め選手の栄光を讃えた。

本大会の協力を通じ、大会の円滑な運営に寄与するとともに、陸上自衛隊の任務に臨む真剣な姿を広報し、理解を得る事ができた。



や「残酷な天使のテーゼ」など7曲を演奏し、広報班長 斉藤芳孝 2等陸尉の呼びかけからアンコールもおこり学生や保護者及び音楽部が一体となり大いに盛り上がりを見せた。4月に入部した重迫撃砲中隊 宗政 菜々花 陸士長は、「初めての演奏支援でとても緊張しましたが、周りの先輩方のサポートもあり、これまでの練成の成果を発揮できて良かったです。今後もしっかりと練成して更に成長できるように頑張りたいです。」とコメントした。本支援を通じて、自衛隊に対する親近感と音楽の素晴らしさを伝える事ができた。



は、令和2年10月31日(日)、大分県立国東高等学校双国校体育館において行われた想刻祭(文化祭)に西部方面特科隊(湯布院)の支援を受け参加した。

国東高等学校
双国校想刻祭

新年あけましておめでとうございます

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

マーチング・カーニバル in別府2020

連隊音楽部は、11月1日(日)、別府市の富士見通りで行われたマーチング・カーニバルin別府2020に第4音楽隊(福岡)と合同で参加した。

本イベントは、「別府をマーチングバンドの聖地へ」のスローガンのもと、今年で5回目の開催となりパレード参加は、今回で2回目となる。音楽部も、昨年に引き続きの参加で当日は天気も心配されたが爽やかな秋晴れとなり、多くのマーチングファンなどが沿道に詰めかけた。音楽部は、13団体中3番目を行進し、「ワシントンポスト」やコロナウィルスの感染拡大により中止となった夏の全国高校野球選手権大会の歌でもある「栄冠は君に輝く」の2曲を日本全国に別府の地からエールの祈りを込めて演奏し威風堂々のパレードで訪れた観客を魅了した。



パレード演奏



パレード演奏



パレード演奏

マーチング・カーニバルに参加した第2中隊 本田拓也 陸士長は「第4音楽隊のレベルの高い演奏に刺激を受け、いい演奏が出来ました。これからもしっかり練習に励み、来年は更にレベルアップした姿を披露したいです。」とコメントした。

本イベントを通じて、別府市を盛り上げるとともに、自衛隊をPRし地域住民の理解を深める事が出来た。

曹友会活動



奈多海岸清掃ボランティア



レンジャー学生への激励品贈呈



おはよう運動



装備品展示



ピストン式破壊工具の体験

令和2年11月28日(土)、中津市消防団の団員が別府駐屯地において部隊研修を行った。本研修の目的は、自衛隊に対する理解及び隊区内における各種機関との親睦を図る事である。当日は、広報班長のブリーフィングから始まり、密を避ける為に研修グループを3組に分けての広報資料館見学や高機動車、軽装甲機動車、オートバイ、人命救助システム等の装備品展示を行い、参加者の中にはピストン式破壊工具の体験で実際に石を粉碎するなど興味深々に自衛隊の装備品等を見学していた。本研修を通じて研修者の自衛隊に対する理解を得る事が出来た。

中津市消防団部隊研修

本支援を通じてイベントの成功に寄与するとともに、自衛隊の炊事能力及び炊事車等の装備品をPRし、自衛隊に対する理解の深化を図る事ができた。



調理する隊員



JR職員との共同作業

豊肥本線開通記念 みんなでつながるカレーフェスタ

第4中隊は令和2年11月15日(日)、熊本県阿蘇駅前広場で行われた豊肥本線開通記念イベントでつながるカレーフェスタに参加した。このイベントは2016年の熊本地震によって不通となっていたJR豊肥線が8月に完全復旧したことを記念して行われ、約2500人が詰めかけ大いに賑わいをみせた。

第4中隊は令和元年度師団炊事競技会で優勝した連隊随一の炊事能力をほこる中隊であり、当日は早朝から別府駐屯地において大分県の特産品でもある豊後牛や、紅はるか(さつまいも)を使用した特製のカレーを調理し、阿蘇駅において炊飯、同地で約300食のカレーを無償で提供した。

新年あけましておめでとうございます